

トップニュース

法要に招待された龍谷大留学生 被爆者と語り合う

安芸教区は7月1日、広島別院(広島市中区)で全戦争死没者追悼法要を営み、京都の宗門校・龍谷大学に通う外国人留学生を招いた。被爆地ヒロシマを肌で感じてほしい、国の違いを超えて一緒に平和について考えてもらいたいと毎年行っているもので、今回は趣旨に賛同したウクライナ、アメリカ、イギリス、チエコ、スペイン、ベトナムの6カ国11人の留学生が参加した。

留学生は法要で厳粛な門徒で被爆体験証言者・篠田恵さん(91)の「わたしの被爆体験」に耳を傾けた。篠田さんは1945年8月6日、13歳の時に爆心地から2.8km離れた自宅で母と弟とともに被爆。当時2歳の弟は、2カ月後の10月に満足な治療も受けられないまま亡くなり、当日勤めに出ていた姉は遺体も見つからなかった。

女学校の2年生だった篠田さんは、学徒動員で建物疎開作業にあたっていたが、その日は偶然、過労で休んでいた。「級友の多くが亡くなり、私だけが生き残った」という申し訳なさや重くのしかかる人生を歩んできたことを明かし、姉を失ったときの光景が今も脳裏に焼き付いていると吐露。「目の当たりにした無数の焼死体や、皮膚が焼けただれた姿…。思い出すたびに当時のつらさがよみがえり、85歳までは自らの被

安芸教区全戦争死没者追悼法要

国の違い超え平和への思い

被爆体験証言者の篠田恵さん(前列中央)の言葉に耳を傾ける外国人留学生



爆体験を語ることでできなかったこと、生涯にわたる戦争の痛みを語った。この痛みは消えないが、被爆体験者が少なくなり、戦争を二度とくり返してはならない。被爆して亡くなった友人らの思いを語り伝えなければならぬという思いが強い。今回は、広島を訪れる修学旅行生らに被爆体験を語り始めたという。

そして、「今、世界中にはおよそ1万3000発の核爆弾がある。それらは広島に投下された原爆の何百倍もの威力がある。核爆弾を使用すれば地

球は破壊する。21世紀こそ戦争のない、核兵器のない平和な世界になるよう、私の被爆体験を一人でも多くの人たちに語ってほしい」と話した。

講演後、篠田さんを囲み、留学生らとの話し合いの場が持たれた。スペイン人留学生ベナベント・ペレス・サビナさん(21)は「原爆が投下されたことを許せますか」と問いかけた。篠田さんは「私は憎んではない」と切り出し、「原爆投下は戦争の中で行われた。戦争は人間を狂わしてしまう。だから戦争はしてはならない」と言葉を選んだ。

ベトナム人留学生ヴォー・ゴックタンさん(24)は、自国の戦争の歴史を若者に伝えるべきだと話した。

ウクライナ人留学生オレクシウ・ロクランナさん(23)は「母国の平和について考える貴重な機会になった」と思い参加した。篠田さんの話を聞き、平和と被爆体験の展示を見て衝撃を受けた。どうして人間がこんなことをするのか。戦争はいけない。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を1日も早く止めなければならぬと感じた。

アメリカ人留学生イングリッシュ・トミーさん(20)は「アメリカの高校では広島島の被爆についてはあまり教えない。篠田さんの話を聞いて涙が出た。原爆がもたらした惨禍に衝撃を受けた。アメリカの家族や友人らに広島島の歴史を伝えるために資料館で資料集を購入した」と話した。

同教区は1996年から留学生を招き始め、これまで世界各地からの留学生428人が参加している。被爆体験者と留学生との話し

「どうして人間がこんなことを」

どう伝えていくのかの課題に助言を求めた。篠田さんは「だから被爆体験者の私たちは語っている。私はこうして生き残ったが、作業中に被爆して亡くなった級友たちの思いを語り継いでいきたい」と力を込めた。最後に篠田さんは「それが互いを認め合い、助け合う世の中を築くことが大事。そのことを皆さんに託したい」と訴えた。

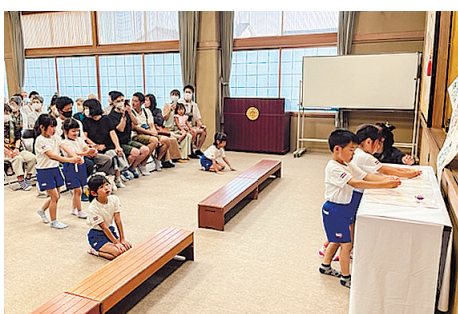
留学生たちは翌2日、広島平和記念資料館を見学し平和記念公園に立つ「原爆の子の像」に非戦平和への願いを込めて千羽鶴を届けた。

ウクライナ人留学生オレクシウ・ロクランナさん(23)は「母国の平和について考える貴重な機会になった」と思い参加した。篠田さんの話を聞き、平和と被爆体験の展示を見て衝撃を受けた。どうして人間がこんなことをするのか。戦争はいけない。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を1日も早く止めなければならぬと感じた。

アメリカ人留学生イングリッシュ・トミーさん(20)は「アメリカの高校では広島島の被爆についてはあまり教えない。篠田さんの話を聞いて涙が出た。原爆がもたらした惨禍に衝撃を受けた。アメリカの家族や友人らに広島島の歴史を伝えるために資料館で資料集を購入した」と話した。

同教区は1996年から留学生を招き始め、これまで世界各地からの留学生428人が参加している。被爆体験者と留学生との話し

高岡教区などで慶讃法要



高岡教区(森尾淳章教務所長)は6月17日、高岡市の西本願寺高岡会館で親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を営み、170人の門信徒、僧侶らが参加した。

森尾所長が導師、法要委員4人が結衆として法要を営み、同別院の門信徒、宗敬区域の滋賀、東海両教区の門信徒や僧侶、講社議員など360人が参加した。

また第2部として、教区内の教化団体、宗門校などが参画した記念行事を開催。教務所に隣接した、さ

福光教室



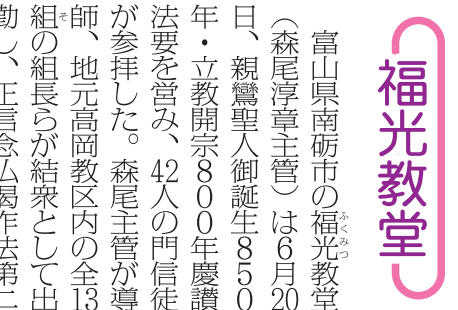
くら保育園の園児30人が仏参写真、高岡龍谷高校の生徒がヨサコイ踊りを披露した。教区仏教婦人会連盟のコーラスグループ「瑠璃の響き」は仏教讃歌や慶讃法要記念の愛唱歌「みんな花になれ」などを歌った。

森尾所長、佐々木秀誠法要委員長は「50年に一度のご縁に遇えた慶びを機縁として、より一層のお念仏相続に努めていこう」と参拝者らに呼びかけた。

記念行事では、同県公立高校などで外国語指導助手をつとめるアメリカ人のクリストファー・フランソワさんの三味線演奏会が行われた写真。

法要後は、別院仏教婦人会と滋賀教区寺婦人コーラス「響流」(午前)、東海教区朝明仏教婦人会連盟コーラス部「コスモス」(午後)が出演し、参拝者と一緒に仏教讃歌や慶讃法要記念の愛唱歌「みんな花になれ」を歌った。また、記念行事では、滋賀県長浜市・龍本寺衆徒の「下野真美さん」が一人芝居「恵信尼さまのお手紙」を演じた。

山科別院



京都市山科区の山科別院(門野哲文書庫)は6月18日、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を営み、同別院の門信徒、宗敬区域の滋賀、東海両教区の門信徒や僧侶、講社議員など360人が参加した。

また第2部として、教区内の教化団体、宗門校などが参画した記念行事を開催。教務所に隣接した、さ

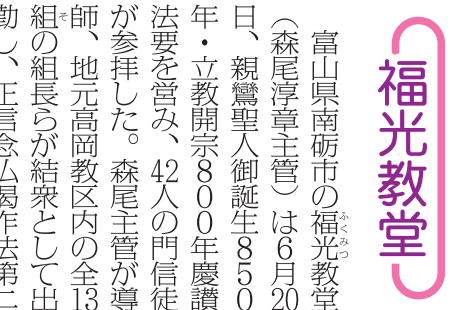
くら保育園の園児30人が仏参写真、高岡龍谷高校の生徒がヨサコイ踊りを披露した。教区仏教婦人会連盟のコーラスグループ「瑠璃の響き」は仏教讃歌や慶讃法要記念の愛唱歌「みんな花になれ」などを歌った。

森尾所長、佐々木秀誠法要委員長は「50年に一度のご縁に遇えた慶びを機縁として、より一層のお念仏相続に努めていこう」と参拝者らに呼びかけた。

記念行事では、同県公立高校などで外国語指導助手をつとめるアメリカ人のクリストファー・フランソワさんの三味線演奏会が行われた写真。

法要後は、別院仏教婦人会と滋賀教区寺婦人コーラス「響流」(午前)、東海教区朝明仏教婦人会連盟コーラス部「コスモス」(午後)が出演し、参拝者と一緒に仏教讃歌や慶讃法要記念の愛唱歌「みんな花になれ」を歌った。また、記念行事では、滋賀県長浜市・龍本寺衆徒の「下野真美さん」が一人芝居「恵信尼さまのお手紙」を演じた。

福光教室



くら保育園の園児30人が仏参写真、高岡龍谷高校の生徒がヨサコイ踊りを披露した。教区仏教婦人会連盟のコーラスグループ「瑠璃の響き」は仏教讃歌や慶讃法要記念の愛唱歌「みんな花になれ」などを歌った。

森尾所長、佐々木秀誠法要委員長は「50年に一度のご縁に遇えた慶びを機縁として、より一層のお念仏相続に努めていこう」と参拝者らに呼びかけた。

記念行事では、同県公立高校などで外国語指導助手をつとめるアメリカ人のクリストファー・フランソワさんの三味線演奏会が行われた写真。

法要後は、別院仏教婦人会と滋賀教区寺婦人コーラス「響流」(午前)、東海教区朝明仏教婦人会連盟コーラス部「コスモス」(午後)が出演し、参拝者と一緒に仏教讃歌や慶讃法要記念の愛唱歌「みんな花になれ」を歌った。また、記念行事では、滋賀県長浜市・龍本寺衆徒の「下野真美さん」が一人芝居「恵信尼さまのお手紙」を演じた。

法要後は、別院仏教婦人会と滋賀教区寺婦人コーラス「響流」(午前)、東海教区朝明仏教婦人会連盟コーラス部「コスモス」(午後)が出演し、参拝者と一緒に仏教讃歌や慶讃法要記念の愛唱歌「みんな花になれ」を歌った。また、記念行事では、滋賀県長浜市・龍本寺衆徒の「下野真美さん」が一人芝居「恵信尼さまのお手紙」を演じた。

本願寺新報

hongwanji journal

7月20日(木曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺) 本願寺出版社内
〒600-8501
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

茶道 敷内家燕庵

京都市下京区西洞院正面下ル

http://www.yabunouchi-ennan.or.jp

新しい「領解文」
(浄土真宗のみ教え)

南無阿弥陀仏
「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩惱と仏のさとりは 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声
ありがとう といたदैて
この愚身をまかす このままで
救い取られる 自然の浄土
仏恩報謝の お念仏

これもひとえに
宗祖親鸞聖人と
法灯を伝承された 歴代宗主の
尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり
少しずつ 執われの心を 離れます
生かされていることに 感謝して
むさぼり いかにに 流されず
穏やかな顔と 優しい言葉
喜びも 悲しみも 分かち合い
日々に 精一杯 つとめます



先日、近所の100円ショップに行くと、レジがセルフ化されていた。スーパーにコンビニ、ホームセンターなど、ここ数年でどんどん増えている。自分でバーコードを読み込んで精算するのだが、少しずつ使い方が違うので、初めての店では戸惑ってしまう。ユニクロでは、レジにかかを置くだけで計算してくれるのだから、不思議なものだ。

▼また、近年のめざましいAI(人工知能)の発達で、質問に対してコンピューターが文章で回答してくれるソフトが話題となっている。素晴らしい文章で、人間がコンピューターから見分けがつかないという、同ソフトを業務に試験導入した地方自治体がニュースに取り上げられていた。今、頭を悩まして書いているこの文章も、そのソフトなら数分もかからずに書き上げてくれるのだろうか。

▼AIはあと20年ほどで人間の知能を超えるとも言われている。親鸞聖人は和讃で、自己中心的な自分の心内は、毒を持つヘビやサソリのように醜いものだとして吐露されている。そして阿彌陀さまは、お慈悲の心で、そのような醜い「凡夫」を憐れみ、「必ず救う」とはたらき続けてくださっているが、AIが人間の知能を超える時、「凡夫」の存在をどのように判断するのだろうか。

▼そこに「慈悲」がなければ、子どもの頃に見たハリウッド映画のように、人類が種の存続をかけてロボットと戦わなければならないのではと本気で心配しなければならない時代に、生きているのである。

お盆の施本にご活用を
お盆特集号

お盆の施本としてもご活用いただけるよう、8月1日号を14ページ建ての特別紙面「お盆特集号」としてお届けします。上の特集をはじめ、法話、3月から5月まで本山で営まれた親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要の写真特集、懸賞付きクイズなどを掲載しています。

1部120円(定期購読の方はそのまま届きます)。50部以上一括申し込みは割引きがあります。50部～99部は1割引。100部～499部は2割引。500部以上は3割引。ご注文は専用フリーダイヤル0120(464)583。

法蔵館

http://www.hozokan.co.jp

法蔵館文庫

浄土真宗の思想

阿彌陀仏と浄土

寺檀の思想

讃仏偈(書写用) 浄土真宗本願寺派版

法蔵館編集部

三三五円

近現代日本の思想変動と

浄土真宗

浄土真宗の思想

浄土真宗の思想

浄土真宗の思想

浄土真宗の思想

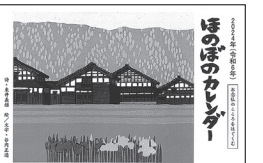
浄土真宗の思想

浄土真宗の思想

浄土真宗の思想

浄土真宗の思想

探究社 https://www.tankyusha.co.jp



1部150円

ほのぼののカレンダー

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版



1部150円

ほのぼののカレンダー

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024年(令和6年)版

2024 R6年 詩と花の絵のカレンダー

みすゞと四季

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー

金子みすゞの詩と花の絵のカレンダー